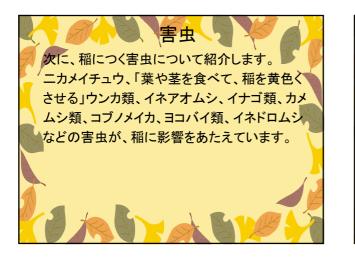


いもち病気

ひどいときには、ほとんどの葉が枯れてしまい稲が死んでしまいます。葉いもちにかかってしまうと、いなほがくきから顔を出す時に、葉にいる病気を起こすカビがいなほのほうに移っていき、いなほやもみが病気になって枯れてしまい、お米が実りません。[穂いもち]といい、これでは、収穫量減ったり、お米がきれいでなくなったりします。

稲の病気

次に、いもち病以外の病気を紹介します。 ごま葉枯病「肥料の枯れた他に発生しやすく、 葉にゴマ粒のような病はんがでて枯れる病気 です。紋枯れ病、萎縮病などの病気があります。 これで、稲の病気の紹介を終わります。



まとめ(感想)

このように、稲の病気やその害虫などが、稲を食いあらしたりして、農家の人々を苦しめているのです。しかし、農家の人々は、よりおいしく、より安全なお米を作るために、田んぼを、稲の病気や、その害虫などから守っているのです。私は、「稲の病気とその害虫」を調べて、農家の人々は、稲の病気などに、とても苦労しているとは、思いませんでした。